

## 次期「宮崎県教育振興基本計画」策定の方向性(骨子案)

### 1. 次期計画の方向性

現行計画のこれまでの推進状況の点検・評価、市町村教育委員会や県民との意見交換等により明らかになった課題等、国の教育施策や近年の社会情勢等を踏まえ、本県教育の振興を図るための新たな計画を策定する。

また、分かりやすく、実効性のある計画とするため、簡潔な構成・表記にする。

### 2. 現行計画からの変更点

[1]基本目標を4から7へ

[2]施策を15から19へ

[3]基本目標と施策を紐付ける

(現行計画は4つの基本目標を15の施策全体が支える形)

[4]各施策のうち、特に重点的に取り組むべきものを「重点施策」として毎年度設定

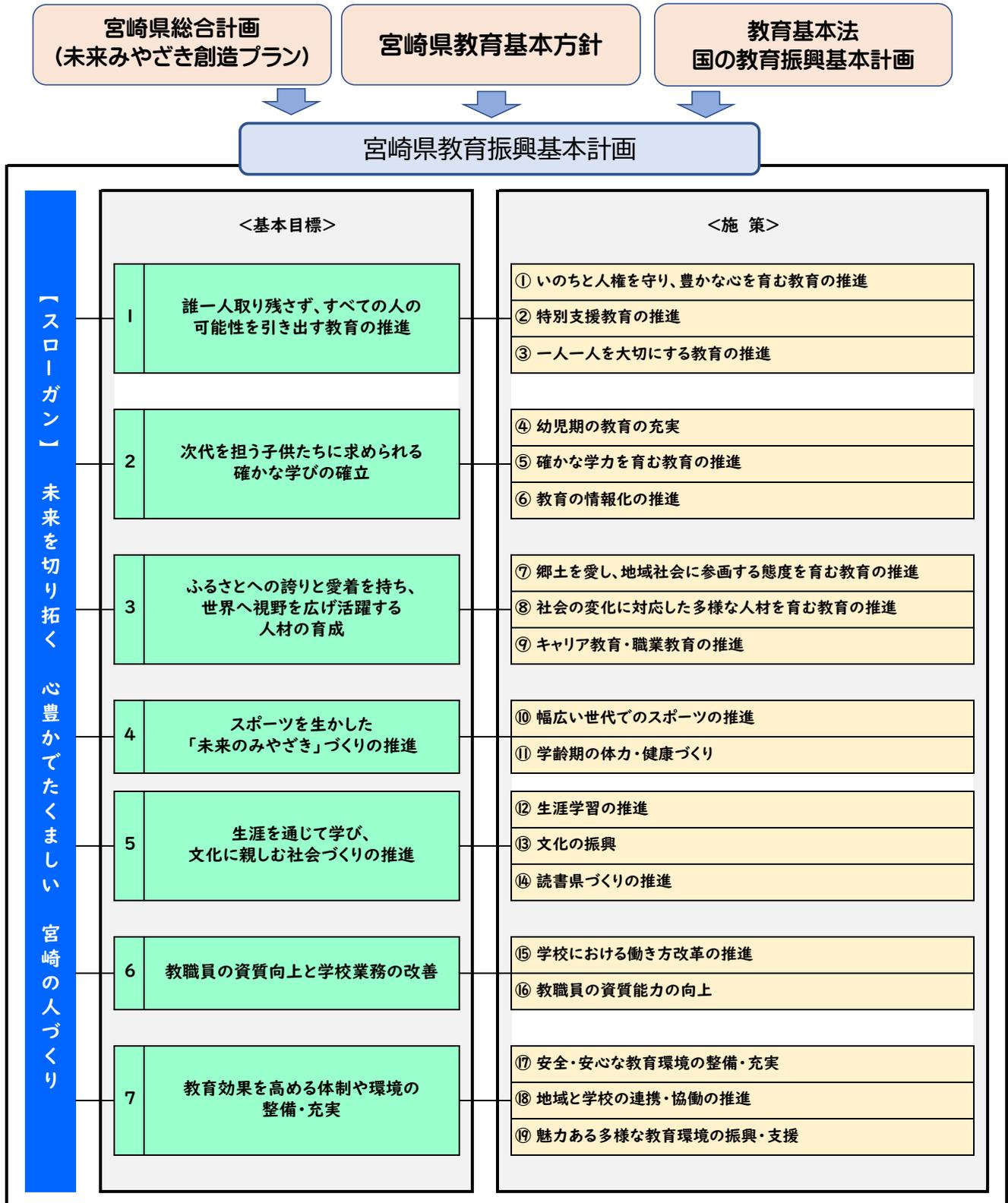
### 3. 国の教育振興基本計画及び県総合計画との関連について

計画策定において、国の計画を参酌し、県総合計画との整合を図る。

### 4. 計画の期間

令和5年度(2023年度)から令和8年度(2026年度)までの4年間とする。

## ＜計画の全体像＞



※ 19の施策のうち、特に重要なものを「重点施策」とし、推進していきます。  
 なお、「重点施策」は、施策の進捗状況や課題を踏まえ毎年度設定することとします。  
 ※ 各施策は、特に関わりの大きい基本目標に位置付けています。

# <施策の体系>

～基本目標、施策及び施策の内容～

## 基本目標1 誰一人取り残さず、すべての人の可能性を引き出す教育の推進

### 施策1 いのちと人権を守り、豊かな心を育む教育の推進

- ①いのちを大切にする教育の推進
- ②人権教育の推進
- ③道徳教育の推進
- ④体験活動の充実

### 施策2 特別支援教育の推進

- ①多様なニーズに対応した支援体制の充実
- ②特別支援教育を担う教職員の専門性向上
- ③自立支援・就労支援の充実

### 施策3 一人一人を大切にする教育の推進

- ①いじめ及び不登校・高等学校中途退学対応の充実
- ②外国人児童生徒対応の充実
- ③就学支援の充実

## 基本目標2 次代を担う子供たちに求められる確かな学びの確立

### 施策4 幼児期の教育の充実

- ①教育・保育内容の充実・支援
- ②子育て支援体制の充実
- ③小学校教育との円滑な接続の推進

### 施策5 確かな学力を育む教育の推進

- ①小・中・義務教育学校の学力向上
- ②高等学校の学力向上
- ③教員の授業改善

### 施策6 教育の情報化の推進

- ①情報活用能力の育成
- ②教科におけるICT活用の推進
- ③校務の情報化の推進
- ④新しい教育様式の確立

## 基本目標3 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界へ視野を広げ活躍する人材の育成

### 施策7 郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進

- ①学校における「ふるさと学習」の充実
- ②地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進
- ③地域における「ふるさとに学ぶ活動」の推進

### 施策8 社会の変化に対応した多様な人材を育む教育の推進

- ①グローバル化に対応した教育の推進
- ②科学技術教育の推進
- ③環境教育の推進

### 施策9 キャリア教育・職業教育の推進

- ①縦の連携を重視したキャリア教育の推進
- ②地域と連携したキャリア教育の推進
- ③時代の変化に対応できる職業教育の推進
- ④高校生の就職支援の充実

## 基本目標4 スポーツを生かした「未来のみやぎ」づくりの推進

### 施策10 幅広い世代でのスポーツの推進

- ①多様な主体におけるスポーツの推進
- ②共生社会の実現に向けたスポーツの推進
- ③スポーツによる地域活性化
- ④国スポ・障スポ大会に向けた競技力向上

### 施策11 学齢期の体力・健康づくり

- ①学校体育の推進
- ②健康教育・食育の推進

## 基本目標5 生涯を通じて学び、文化に親しむ社会づくりの推進

### 施策12 生涯学習の推進

- ①生涯学習推進体制の充実
- ②社会教育の充実
- ③家庭教育支援の充実

### 施策13 文化の振興

- ①県民誰もが文化に親しむ機会の充実
- ②文化活動を支え育む環境の整備
- ③文化資源の保存・継承
- ④特色ある文化資源の活用
- ⑤文化芸術活動の充実

### 施策14 読書県づくりの推進

- ①学校における読書活動の推進
- ②家庭・地域における読書活動の推進
- ③読書県づくりの推進体制の充実

## 基本目標6 教職員の資質向上と学校業務の改善

### 施策15 学校における働き方改革の推進

- ①学校における業務改善に関する取組
- ②教職員全体の働き方に対する意識改革に関する取組

### 施策16 教職員の資質能力の向上

- ①優れた人材の確保
- ②専門性や社会性の向上のための研修の充実

## 基本目標7 教育効果を高める体制や環境の整備・充実

### 施策17 安全・安心な教育環境の整備・充実

- ①学校安全体制の整備
- ②安全・安心な学校施設の整備
- ③実践的な防災教育等の推進

### 施策18 地域と学校の連携・協働の推進

- ①学校を核とした地域づくりの推進
- ②地域とともにある学校づくりの推進
- ③教育に関する県民意識の醸成

### 施策19 魅力ある多様な教育環境の振興・支援

- ①公立小・中・義務教育学校の教育環境の充実
- ②県立学校の教育環境の充実
- ③学校種間の連携・接続の推進
- ④私立学校の振興
- ⑤高等教育環境の充実

【新旧対照表】

○現行計画の施策構成 [4つの基本目標 15施策+3つの重点取組]

（基本目標）		（施策の内容）	
1 生涯学習の推進 2 地域と学校の連携・協働の推進 3 読書県づくりの推進 4 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進	1 生涯学習の推進	(1)生涯学習推進体制の充実 (2)社会教育の充実 (3)家庭教育の充実	1 生涯学習の推進
	2 地域と学校の連携・協働の推進	(1)学校を核とした地域づくりの推進 (2)地域とともにある学校づくりの推進 (3)教育に関する県民意識の醸成	2 特別支援教育の推進 (1)多様なニーズに対応した支援体制の充実 (2)特別支援学校を担う教職員の専門性向上 (3)自立支援・就労支援の充実
	3 読書県づくりの推進	(1)学校における読書活動の推進 (2)家庭・地域における読書活動の推進 (3)読書県づくり推進体制の充実	3 読書県づくりの推進 (1)いじめ及び不登校・高等学校等中途退学対応の充実 (2)外国人児童生徒対応の充実 (3)就学支援の充実
	4 幼児期の教育の充実	(1)教育・保育内容の充実・支援 (2)子育て支援体制の充実 (3)小学校教育との円滑な接続の推進	4 幼児期の教育の充実 (1)教育・保育内容の充実・支援 (2)子育て支援体制の充実 (3)小学校教育との円滑な接続の推進
	5 確かな学力を育む教育の推進	(1)小・中学校の学力向上 (2)高等学校の学力向上 (3)教員の授業改善	5 確かな学力を育む教育の推進 (1)情報活用能力の育成 (2)教科におけるICT活用の推進 (3)校務の情報化の推進 (4)新しい教育様式の確立
	6 人権を尊重し豊かな心を育む教育の推進	(1)人権教育の推進 (2)道徳教育の充実 (3)体験活動の充実 (4)文化芸術活動の充実	6 教育の情報化の推進 (1)学校における「ふるさと学習」の充実 (2)地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進 (3)地域におけるふるさとに学ぶ活動の推進
	7 特別支援教育の推進	(1)多様なニーズに対応した支援体制の充実 (2)特別支援学校に関する専門性向上 (3)自立支援・就労支援の充実	7 幅広い世代でのスポーツの推進 (1)多様な主体におけるスポーツの推進 (2)共生社会の実現に向けたスポーツの推進 (3)スポーツによる地域活性化 (4)国スポーツ・障スポ大会に向けた競技力向上
	8 郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進	(1)学校における「ふるさと学習」の充実 (2)地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進 (3)地域におけるふるさとに学ぶ活動の推進	8 郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進 (1)学校における「ふるさと学習」の充実 (2)地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進 (3)時代の変化に対応できる職業教育の推進 (4)高校生の就職支援の充実
	9 キャリア教育・職業教育の推進	(1)業の連携を重視したキャリア教育の推進 (2)地域と連携したキャリア教育の推進 (3)産業や医療・福祉を担う人材の育成 (4)高校生の就職支援の充実	9 キャリア教育・職業教育の推進 (1)業の連携を重視したキャリア教育の推進 (2)地域と連携したキャリア教育の推進 (3)時代の変化に対応できる職業教育の推進 (4)高校生の就職支援の充実
	10 社会の変化に対応した多様な人材を育む教育の推進	(1)グローバル化に対応した教育の推進 (2)科学技術教育の推進 (3)教育の情報化の推進 (4)環境教育の推進	10 幅広い世代でのスポーツの推進 (1)多様な主体におけるスポーツの推進 (2)共生社会の実現に向けたスポーツの推進 (3)スポーツによる地域活性化 (4)国スポーツ・障スポ大会に向けた競技力向上
	11 教職員の資質向上と学校業務の改善	(1)優れた人材の確保 (2)専門性や社会性の向上のための研修の充実 (3)学校の機能を高めるための学校業務の改善	11 学齢期の体力・健康づくり (1)学校体育の推進 (2)健康教育・食育の推進
	12 安全・安心な教育環境の整備・充実	(1)学校安全体制の整備 (2)安全・安心な学校施設の整備 (3)実践的な防災教育等の推進 (4)いじめ及び不登校・高等学校等中途退学の防止	12 生涯学習の推進 (1)生涯学習推進体制の充実 (2)社会教育の充実 (3)家庭教育支援の充実
	13 魅力ある多様な教育の振興・支援	(1)公立小・中学校の教育環境の充実 (2)県立学校の教育環境の充実 (3)学校種間の連携・接続の推進 (4)修学支援の充実 (5)私立学校の振興 (6)高等教育環境の充実	13 文化の振興 (1)県民誰もが文化に親しむ機会の充実 (2)文化活動を支え育む環境の整備 (3)文化資源の保存・継承 (4)特色ある文化資源の活用 (5)全国的文化イベントの開催を契機とした文化力の向上
	14 文化の振興	(1)県民誰もが文化に親しむ機会の充実 (2)文化活動を支え育む環境の整備 (3)文化資源の保存・継承 (4)特色ある文化資源の活用 (5)全国的文化イベントの開催を契機とした文化力の向上	14 読書県づくりの推進 (1)学校における読書活動の推進 (2)家庭・地域における読書活動の推進 (3)読書県づくりの推進体制の充実
	15 スポーツの推進	(1)スポーツ参画人口の拡大 (2)アスリーターの育成 (3)学校体育の推進 (4)障がい者スポーツの推進 (5)スポーツによる地域活性化	15 学校における働き方改革の推進 (1)学校における業務改善に関する取組 (2)教職員全体の働き方に対する意識改革に関する取組

重点的に推進する取組	
1	いのちを大切にすることを教育の推進
2	地域と学校の連携・協働による多様な活動の充実
3	学校における働き方改革の推進

○次期計画の施策構成(案) [7つの基本目標 19施策]

（基本目標）		（施策の内容）	
1 一人取り残さず、すべての人の可能性を引き出す教育の推進 2 特別支援教育の推進 3 一人一人を大切にすることを教育の推進 4 幼児期の教育の充実 5 確かな学力を育む教育の推進 6 教育の情報化の推進 7 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界や視野を広げ活躍する人材の育成 8 郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進 9 キャリア教育・職業教育の推進 10 幅広い世代でのスポーツの推進 11 学齢期の体力・健康づくり 12 生涯学習の推進 13 文化の振興 14 読書県づくりの推進 15 学校における働き方改革の推進 16 教職員の資質能力の向上 17 安全・安心な教育環境の整備・充実 18 地域と学校の連携・協働の推進 19 魅力ある多様な教育環境の振興・支援	1 一人取り残さず、すべての人の可能性を引き出す教育の推進	(1)一人一人を大切にすることを教育の推進 (2)人権教育の推進 (3)道徳教育の充実 (4)体験活動の充実	1 一人一人を大切にすることを教育の推進 (1)いじめ及び不登校・高等学校等中途退学対応の充実 (2)外国人児童生徒対応の充実 (3)就学支援の充実
	2 特別支援教育の推進	(1)多様なニーズに対応した支援体制の充実 (2)特別支援学校を担う教職員の専門性向上 (3)自立支援・就労支援の充実	2 特別支援教育の推進 (1)多様なニーズに対応した支援体制の充実 (2)特別支援学校を担う教職員の専門性向上 (3)自立支援・就労支援の充実
	3 一人一人を大切にすることを教育の推進	(1)いじめ及び不登校・高等学校等中途退学対応の充実 (2)外国人児童生徒対応の充実 (3)就学支援の充実	3 一人一人を大切にすることを教育の推進 (1)いじめ及び不登校・高等学校等中途退学対応の充実 (2)外国人児童生徒対応の充実 (3)就学支援の充実
	4 幼児期の教育の充実	(1)教育・保育内容の充実・支援 (2)子育て支援体制の充実 (3)小学校教育との円滑な接続の推進	4 幼児期の教育の充実 (1)教育・保育内容の充実・支援 (2)子育て支援体制の充実 (3)小学校教育との円滑な接続の推進
	5 確かな学力を育む教育の推進	(1)小・中・義務教育学校の学力向上 (2)高等学校の学力向上 (3)教員の授業改善	5 確かな学力を育む教育の推進 (1)情報活用能力の育成 (2)教科におけるICT活用の推進 (3)校務の情報化の推進 (4)新しい教育様式の確立
	6 教育の情報化の推進	(1)情報活用能力の育成 (2)教科におけるICT活用の推進 (3)校務の情報化の推進 (4)新しい教育様式の確立	6 教育の情報化の推進 (1)情報活用能力の育成 (2)教科におけるICT活用の推進 (3)校務の情報化の推進 (4)新しい教育様式の確立
	7 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界や視野を広げ活躍する人材の育成	(1)学校における「ふるさと学習」の充実 (2)地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進 (3)地域におけるふるさとに学ぶ活動の推進	7 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界や視野を広げ活躍する人材の育成 (1)学校における「ふるさと学習」の充実 (2)地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進 (3)地域におけるふるさとに学ぶ活動の推進
	8 郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進	(1)学校における「ふるさと学習」の充実 (2)地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進 (3)地域におけるふるさとに学ぶ活動の推進	8 郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進 (1)学校における「ふるさと学習」の充実 (2)地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進 (3)時代の変化に対応できる職業教育の推進 (4)高校生の就職支援の充実
	9 キャリア教育・職業教育の推進	(1)業の連携を重視したキャリア教育の推進 (2)地域と連携したキャリア教育の推進 (3)時代の変化に対応できる職業教育の推進 (4)高校生の就職支援の充実	9 キャリア教育・職業教育の推進 (1)業の連携を重視したキャリア教育の推進 (2)地域と連携したキャリア教育の推進 (3)時代の変化に対応できる職業教育の推進 (4)高校生の就職支援の充実
	10 幅広い世代でのスポーツの推進	(1)多様な主体におけるスポーツの推進 (2)共生社会の実現に向けたスポーツの推進 (3)スポーツによる地域活性化 (4)国スポーツ・障スポ大会に向けた競技力向上	10 幅広い世代でのスポーツの推進 (1)多様な主体におけるスポーツの推進 (2)共生社会の実現に向けたスポーツの推進 (3)スポーツによる地域活性化 (4)国スポーツ・障スポ大会に向けた競技力向上
	11 学齢期の体力・健康づくり	(1)学校体育の推進 (2)健康教育・食育の推進	11 学齢期の体力・健康づくり (1)学校体育の推進 (2)健康教育・食育の推進
	12 生涯学習の推進	(1)生涯学習推進体制の充実 (2)社会教育の充実 (3)家庭教育支援の充実	12 生涯学習の推進 (1)生涯学習推進体制の充実 (2)社会教育の充実 (3)家庭教育支援の充実
	13 文化の振興	(1)県民誰もが文化に親しむ機会の充実 (2)文化活動を支え育む環境の整備 (3)文化資源の保存・継承 (4)特色ある文化資源の活用 (5)文化芸術活動の充実	13 文化の振興 (1)県民誰もが文化に親しむ機会の充実 (2)文化活動を支え育む環境の整備 (3)文化資源の保存・継承 (4)特色ある文化資源の活用 (5)文化芸術活動の充実
	14 読書県づくりの推進	(1)学校における読書活動の推進 (2)家庭・地域における読書活動の推進 (3)読書県づくりの推進体制の充実	14 読書県づくりの推進 (1)学校における読書活動の推進 (2)家庭・地域における読書活動の推進 (3)読書県づくりの推進体制の充実
	15 学校における働き方改革の推進	(1)学校における業務改善に関する取組 (2)教職員全体の働き方に対する意識改革に関する取組	15 学校における働き方改革の推進 (1)学校における業務改善に関する取組 (2)教職員全体の働き方に対する意識改革に関する取組
	16 教職員の資質能力の向上	(1)優れた人材の確保 (2)専門性や社会性向上のための研修の充実	16 教職員の資質能力の向上 (1)優れた人材の確保 (2)専門性や社会性向上のための研修の充実
	17 安全・安心な教育環境の整備・充実	(1)学校安全体制の整備 (2)安全・安心な学校施設の整備 (3)実践的な防災教育等の推進	17 安全・安心な教育環境の整備・充実 (1)学校安全体制の整備 (2)安全・安心な学校施設の整備 (3)実践的な防災教育等の推進
	18 地域と学校の連携・協働の推進	(1)学校を核とした地域づくりの推進 (2)地域とともにある学校づくりの推進 (3)教育に関する県民意識の醸成	18 地域と学校の連携・協働の推進 (1)学校を核とした地域づくりの推進 (2)地域とともにある学校づくりの推進 (3)教育に関する県民意識の醸成
	19 魅力ある多様な教育環境の振興・支援	(1)公立小・中・義務教育学校の教育環境の充実 (2)県立学校の教育環境の充実 (3)学校種間の連携・接続の推進 (4)私立学校の振興 (5)高等教育環境の充実	19 魅力ある多様な教育環境の振興・支援 (1)公立小・中・義務教育学校の教育環境の充実 (2)県立学校の教育環境の充実 (3)学校種間の連携・接続の推進 (4)私立学校の振興 (5)高等教育環境の充実

## 次期「宮崎県教育振興基本計画」策定に係る意見聴取

## 1 次期「宮崎県振興基本計画」策定に係る意見聴取について(概要)

## (1) 調査対象等

カテゴリー	対 象
市町村教育委員会	全26市町村
県立学校	各県立学校50校(県立高等学校36校・県立中等教育学校1校・特別支援学校13校)
中学生	令和4年度県推進事業の指定校・推進校(計37校)の生徒会役員等
高校生	令和4年度第1回「ひむか共創人財育成塾:教師みらいコース」受講者
	「県高等学校総合文化祭 生徒会交流部門」参加者(各校の生徒会役員)
特別支援学校生	特別支援学校全13校(中等部・高等部)の生徒会役員等
大学生	宮崎国際大学教育学部2年生
	令和4年度第1回「ひなた教師塾」受講者
	令和4年度宮崎大学教育学部小中一貫教育コース宮崎県教員枠「ひなた教師セミナー」受講者
教職員	令和4年度「第1回県立学校初期研修2年目」受講者
	令和4年度「リーダー養成研修」受講者(中堅教員)
	令和4年度 公立学校 初期研修1年目(異校種・異職種間交流)受講者
PTA	県PTA連合会理事・県高等学校PTA連合会役員・県特別支援学校PTA連絡協議会役員
社会教育委員	県社会教育委員
スポーツ関係者	県スポーツ推進審議会委員

## (2) 調査方法

質問紙によるアンケート(オンライン含む)、協議 等

## (3) 調査期間

令和4年5月から10月

## 2 主な意見等について

### ■15の施策の中で、もっと力を入れるべきと思われるもの 市町村教育委員会

15の施策の中で、もっと力を入れるべきと思われるもの		割合
1	⑤確かな学力を育む教育の推進 全国学力・学習状況調査の結果が伴わない 諸調査等で研修等の成果が出ていない 授業力向上が学力向上に連動していることの強調	19.7%
2	②地域と学校の連携・協働の推進 コミュニティ・スクール運用開始への検討段階である 学校運営協議会が委員の能動的な取組になっていない コロナ禍の状況で対面での協議が困難	12.1%
	⑦特別支援教育の推進 増加する支援が必要な児童に対し条件整備を進める 特別支援教育に精通した人材の育成が必要 教員の特別支援教育の資質向上のための手立てが必要	12.1%
4	①生涯学習の推進 文化活動にて、指導者の確保や設備の整備を進める 家庭教育において、地域差・家庭差が生じている コロナ禍のため住民の生涯学習推進が不十分	9.1%
	⑫安全・安心な教育環境の整備・充実 いじめ・不登校の改善に向けた取組の更なる充実 文教施設の改修が遅れている 耐震化工事や長寿命化工事の事業が進んでいない	9.1%
6	⑪教職員の資質向上と学校業務の改善 教職員の人材確保と人材育成 教職員の資質向上の手立てが更に必要	7.6%
7	③読書づくりの推進 情報・交流拠点として公民館図書室運営が必要 調査の「読書好き」の数値が全国を下回っている	6.1%
	⑩社会の変化に対応した多様な人財を育む教育の推進 教職員のICT活用に差が見られる さらなる教育の情報化の推進が必要	6.1%
	⑮スポーツの推進 部活動の適切な運営に向けた環境整備 部活動の地域移行について	6.1%
10	④幼児期の教育の充実 幼小一貫した指導を組織的・継続的に取り組む必要がある	4.5%
11	⑧郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育の推進 「ふるさと教育」が地域の名所や特産品を調べる内容 となっており、授業向上のための研修等の実施が必要	3.0%
12	⑨キャリア教育・職業教育の推進 職業講話等の既存の学習内容から転換ができていない	1.5%
	⑬魅力ある多様な教育の振興・支援 タブレットの効果的な活用など、さらに推進する	1.5%
	⑭文化の振興 コロナ禍のため文化活動の中止が多い	1.5%

### 県立学校

15の施策の中で、もっと力を入れるべきと思われるもの		割合
1	⑪教職員の資質向上と学校業務の改善 若手教員からベテラン教員への経験が伝承されていない 教員採用試験の受験者増のための取組が必要 教員の多忙さに業務の改善が追いついていない	25.9%
2	⑤確かな学力を育む教育の推進 教職員の人材確保、資質能力の育成と連動している 教員の授業準備や工夫をする時間の確保が必要 小中高の系統的に学力を育む必要がある	14.3%
3	⑦特別支援教育の推進 障がいの多様化、教員の専門性に関する知識・技能の低下 多様なニーズに対応した支援体制が不十分 教室不足対応等、施設整備面の充実が不足している	11.6%
4	⑬魅力ある多様な教育の振興・支援 学校施設の老朽化が進んでおり、前向きな検討が必要 学校と企業や地域を巻き込んだ取組がさらに必要 コロナ禍のため異校種の取組や発信が困難である	8.0%
	⑮スポーツの推進 国スポ大会へなかなか強化が進まない面がある 部活動の地域移行が高校に与える影響が見逃せない 働き方改革における部活動の今後の在り方の検討	8.0%
	⑫安全・安心な教育環境の整備・充実 環境整備について私学に対抗する予算の充実 災害時に対応するための危機管理体制の確立 寄宿舎の老朽化について、震災時の安全性に課題がある	8.0%
7	③読書づくりの推進 学校図書館は機能充実しているが生徒の読書量は少ない デジタル機器の影響もあり生徒の読書量は落ちている	5.4%
	⑩社会の変化に対応した多様な人財を育む教育の推進 SSH、SGH指定校以外の学校で取り組める体制づくり 目の前の多忙感から教育を変えることができていない	5.4%
9	⑭文化の振興 スポーツに比べ文化に親しむ機会が限定されている 生徒数が減り加入者の少ない文化部を元気づけられない	4.5%
10	②地域と学校の連携・協働の推進 コロナ禍において、地域との連携ができなかった 定時制・通信制は単位制であり、地域との連携が薄い	3.6%
11	⑥人権を尊重し豊かな心を育む教育の推進 多様性を認め合う人権教育の推進が今一度必要 スクールカウンセラー等の支援のさらなる充実	2.7%
12	①生涯学習の推進 大学等におけるリカレント教育の推進が必要	1.8%
13	⑨キャリア教育・職業教育の推進 コロナ禍におけるインターンシップの実施が困難	0.9%

■本県教育の課題  
中学生

本県教育の課題		割合
1	学力向上 学力が低い(全国比) 学力差が大きい(地域差、学級差、個人差) 将来への不安、高校入試へ向けて必要	18.3%
2	いじめ、不登校問題 いじめ、不登校の増加 全国的な問題、社会問題 自殺、いのちの大切さ	18.1%
3	地域との交流 交流が少ない(コロナ禍、地域行事がない) 視野を広げる、地域活性化 地元愛が大切、ふるさとに誇りをもつ	7.1%
	多様性の理解 (共生社会) LGBTQ、ジェンダーの理解の必要性、SDGs 個性の尊重、自分らしく生きる 差別をなくす、互いに認め合う	7.1%
5	学校施設、設備 老化、安全の確保 バリアフリー、ユニバーサルデザイン エアコン、トイレの整備	5.2%
6	国際理解、国際交流 グローバル化、国際化、多文化理解の必要性 コミュニケーション能力の育成	4.6%
7	教育の情報化(ICT教育) これから大切なスキル、生活上必要 PCがあるのに活用されていない	4.2%
	生徒の人間関係 友人同士のトラブル、関係づくりの難しさ 不登校やいじめの原因	4.2%
	ふるさと教育、郷土学習 地域や故郷を知る、故郷のありがたさ 地域活性化、過疎化、人口減少対応	4.2%
10	道徳心、規範意識 相手の気持ちを考える、社会でも大切なこと 規範意識がない、ルールを守らない人がいる	3.5%
11	防災教育、安全教育 災害への対応(地震が多い、南海トラフ地震) 火災や事故への対応	3.1%
12	体力、運動能力 体力、運動能力が低い(全国比) 地域差、個人差、ゲームやスマホの影響	2.9%
13	部活動 部活動が少ない、部活動時間が短い、入部率が低い 部活動が盛んだと学校に活気が出る	2.7%
14	児童、生徒数の減少 学校の人数が年々減っている、廃校の可能性 多い方がいろんな意見が出て充実する	2.5%
	読書活動、図書館の活用 図書館の利用者が少ない、読書をしていない人が多い 個人差がある	2.5%
	非行、問題行動 身近な問題、減ってほしい 周りに迷惑をかける、将来が大変	2.5%
17	キャリア教育、職業研究 将来や仕事について考える機会が必要 可能性が広がる	2.3%
18	授業 授業が楽しいとやる気が出る、学力向上のため 居眠りが多い、楽しくない	2.1%
19	小中連携、中高連携 進路選択に役立つ、教育の幅が広がる コロナ禍で交流が減少	1.5%
	その他	1.4%

高校生

本県教育の課題		割合
1	いじめ、不登校問題 SNS等によるいじめが多くなっている いのちや人生に関わることで大切である 今の教育現場は不登校を良しとする傾向がある	18.8%
2	学力向上 本県の学力は全国的に見ると低い 宮崎市内と市外において学習意欲に差がある 学力が良い人はいいが、悪い人はとても悪い	15.4%
3	教育の情報化 (ICT教育) 機器はあるが使う頻度が少なく有効活用できていない 新しく導入されたばかりで先生方も慣れていない ICT機器は目的ではなく手段であるべき	11.6%
4	学校施設、設備 施設の老朽化や設備が足りないと思うことがある 学校の設備に不備があり、負傷者が出るで大変である 私立高校は綺麗だが県立高校は施設に危ない所がある	7.8%
5	多様性の理解 (共生社会) 宮崎はジェンダーへの理解が薄いと思う 生徒は一人一人違うのに比べられているように感じる 多様性が重視される中、無意識に差別することがある	5.9%
6	地域との交流 高校生との交流が地域の活性化につながる 地域の良さを知り、防犯対策にもなる	4.0%
	生徒の人間関係 マスクをつけた生活なので校内の交流の場が必要 人間関係のトラブルがいじめや不登校につながる	4.0%
8	ふるさと教育、郷土学習 県内の魅力を高校生へ発信し、県内に残るようにする ネット等で県外に目が行くので県内の良さを知るべき	3.8%
	国際理解、国際交流 宮崎は外国人が少ないため、交流の機会が必要 異文化を知り、理解することは大切である	3.8%
10	キャリア教育、職業研究 県内企業の魅力を知り、県内就職率を増加する 高校生は将来の姿を想像できていない人が多い	3.6%
11	授業 授業をもっとわかりやすい楽しい内容にする 質問しやすい場をつくってほしい	3.1%
12	児童・生徒数の減少 学校がなくなってしまうのは困るから 少子高齢化は全国でも課題となっている	2.9%
13	道徳心、規範意識 人を思いやる心は学校や社会でとても大切である 犯罪や非行を少しでも減らさないとよい	2.6%
	読書活動、図書館の活用 本の貸出冊数は減少しており、図書館利用者も少ない 読書は自分の考えを深め、相手の心の機微に気づける	2.6%
14	防災教育、安全教育 災害の脅威が高まる中、必要な教育である 本県は地震や火山の噴火など自然災害が多い	2.1%
15	部活動 顧問の競技歴による指導のレベルの差が顕著である 教員の負担が増える	1.4%
	その他	6.6%

■本県教育の課題  
特別支援学校生

本県教育の課題		割合
1	いじめ、不登校問題 全国的な問題、社会問題 自殺につながる、かわいそう、助けない いじめ、不登校の増加	14.7%
2	生徒の人間関係 人間関係づくりを学びたい 仲良くしたい、協力したい 敬語の使い方、不登校につながる	11.0%
3	教育の情報化 (ICT教育) スキルを身に付けたい、使い方を学びたい これから大切なスキル、生活上必要 情報化社会への適応	7.4%
	部活動 楽しいから、強くなりたいから、興味があるから 部活動時間が短い、部活動が少ない 人と関わりたい	7.4%
5	体力、運動能力 自分に力を付けたい 苦手な人が多い、コロナで運動できない 体力を付けるのが楽しい	6.6%
	地域との交流 コロナ禍で交流がない、交流が楽しかった コミュニティやつながりを広げたい 地域のよさを知る、学校を広める	6.6%
7	防災教育、安全教育 地震や災害の増加 対処方法や対策を学ぶため	5.9%
8	学力向上 学力が上がるとうれしい、できることが増える 将来のため、高校受験したい	5.2%
9	キャリア教育、職業研究 将来の進路、就職のため 職場体験が楽しい	4.4%
	授業 いろいろなことを学びたい、将来のため 分からないまま次に進んでしまうから	4.4%
	多様性の理解 (共生社会) 障がい者理解の必要性、まだ批判や悪口がある 人間関係づくり	4.4%
12	非行、問題行動 問題行動の増加 問題行動はしてはいけない	3.7%
	読書活動、図書館の活用 読書が好き、もっと本を読んでほしい 図書室の本を増やしてほしい	3.7%
14	道徳心、規範意識 人の気持ちを考えること、ルールを守ることが大事 礼儀、マナーを身に付ける	2.9%
	ふるさと教育、郷土学習 自分の町をよくしたい、発信したい 宮崎の歴史や神話を知りたい	2.9%
	学校施設、設備 ゆっくりできる教室が少ない きれいな方がいい	2.9%
17	国際理解、国際交流 言語の違いや文化を知るため コミュニティが広がる	2.2%
	その他	3.5%

大学生

本県教育の課題		割合
1	学力向上 基礎学力の定着 全国学力調査の結果 個人の学力の差	17.7%
2	いじめ・不登校 いじめ問題 不登校の児童生徒の多さ	12.2%
3	教職員の資質・能力 授業改善、指導力低下 新任教員の指導 教職員の学力低下	9.2%
	ICT教育 教職員のICT活用能力 教育におけるICT活用	9.2%
5	地域の教育力 県民との関わり 地域との連携	8.2%
6	幼児教育 保育士・幼稚園教諭の人数の少なさ 保育士・幼稚園教諭への支援	5.3%
7	多様な教育 国際教育の推進 個性を尊重する教育が必要	5.0%
8	特別支援教育 特性を持つ児童生徒への対応 教員の専門性不足	4.6%
	学校の施設・設備 学校設備の充実 施設の老朽化	4.6%
	読書活動、図書館の活用 図書館の利用者が少ない、読書をしない人が多い 個人差がある	4.6%
11	教職員の働き方改革 業務の多さ 時間外業務の実施	3.5%
	ふるさと学習・郷土学習 郷土の魅力に触れる教育がより必要	3.5%
13	スポーツの推進 県民のスポーツへの関わり度の低さ 種目の少なさ	2.8%
14	郷土で活躍する人材 県内就職率の低さ 県内就職の魅力の周知	2.5%
15	人権・道徳教育 学校と家庭との連携 家庭学習の取組の差	2.1%
	その他	5.0%

## ■本県教育の課題

### 教職員

本県教育の課題		割合
1	教職員の働き方改革 長時間勤務、多忙化、業務の多様化・複雑化 部活動指導の負担 各教員間の連携不足、業務負担の偏り	17.6%
2	子どもの学力 学力向上(特に思考力、読解力) 基礎学力の定着 学力差(地域差、個人差)	16.9%
3	教職員の人材不足 教員志望者数、採用試験倍率の低下 教員の質の低下	11.8%
4	ICT教育 教員のICTリテラシー不足 学校におけるICT利活用の充実 ICT環境整備	9.6%
5	いじめ・不登校等 (生徒指導上の問題) いじめ・不登校生の増加 スマホ・SNS等の問題 いのちの教育、自己肯定感、人権意識	8.5%
6	特別支援教育 支援を必要とする児童・生徒数増加 教員の専門性不足	6.5%
7	家庭教育 家庭教育力の低下、保護者の意識の変化 家庭環境の多様化	6.2%
8	人口減少、子どもの減少 若者の県外流出(県外就職、進学) 県立高校の生徒数減少	5.5%
9	学校施設・設備 学校設備の充実、教室不足 施設・設備の充実、ICT環境の整備	4.2%
10	キャリア教育 将来設計能力の養成 体験活動の充実、郷土愛を育む教育の充実	3.6%
11	スポーツの推進 子どもの体力低下 スポーツ人口の減少	3.0%
	教職員の資質・能力 教科指導・指導力・専門性の低下 授業改善、学校業務の改善	3.0%
	その他	3.6%

### PTA

教育の課題		割合
1	子どもの学力 全国学力テストで上位に上がっていない 宿題の在り方(学力向上につながっていない) 経済格差等による学力差	14.5%
2	いじめ・不登校(生徒指導上の問題) 学校、保護者、子どものいじめに対する認識のずれ 不登校の増加 インターネット上でのいじめ	12.9%
3	特別支援教育 特別な支援が必要な児童生徒の増加 公立学校に少人数や通級で学べる環境を 発達障害に関するニーズへの対応	9.7%
4	教育の情報化(ICT教育) 都市部と地方の格差がないように進めて欲しい 推進するためには子どもと保護者に丁寧な説明が必要 トップダウンで推進してほしい	8.1%
	教職員の働き方改革 残業時間の多さ、子どもに向き合う時間が少ない 働き方改革推進についての保護者の理解 保護者との協力が必要	8.1%
6	多様な教育(グローバル化への対応・科学技術 教育・環境教育等) 時代の発展による要請 SDGsの考え方を計画に反映させる必要がある	6.5%
	地域との交流・地域の教育力 地域との関係の希薄化 地域との連携の必要性	6.5%
	教職員の資質・能力 資質・能力の向上と業務改善 教職員の能力と業務分担	6.5%
9	人口減少・子どもの減少 今後、加速すると考えられるため 小規模校が増えることによる課題(財政面、教員の負担等)	4.8%
	幼児教育(就学前教育) 幼少期の学びが土台となるため ネット依存など低年齢化しているため	4.8%
	学校の施設・設備 学校設備の老朽化や教室不足 熱中症対策、災害の増加	4.8%
12	教職員の人材不足 多様な教育に対応するための人材不足 人材不足による地域格差	3.2%
	人権・道徳教育 先生の言うことだけを聞くのが学校ではない	3.2%
	スポーツの推進 全国に通用するスポーツ競技が少ない	1.6%
14	家庭教育 学校任せではいけない	1.6%
	読書活動、図書館の利用 図書館の在り方の検討	1.6%
	その他	1.6%

### 社会教育委員(主な意見)

○ 子どもの学力(小規模校でも個別指導が必要な状況がある、全国と比較して学力低い)	○ 地域との交流・地域の教育力
○ 家庭教育(経済的な理由等により家庭での教育ができていないのではないかな)	○ 教職員の働き方改革 ○ 学校の施設・整備
○ 教職員の人材不足(県内学校で人材を求める声が多い、教職を目指す若者の減少、講師不足)	○ 教職員の資質・能力 ○ ふるさと教育・郷土学習
○ 特別支援教育(職員への研修等の必要性、就学相談の充実)	○ 文化の振興

### スポーツ関係者(主な意見)

○ 中学校の部活動地域移行(大学生活用、人材不足への対応)	○ 食を通じた健康増進
○ スポーツを通じた共生社会の実現(国スポ・障スポ後の対応、共生社会を目指すスポーツの在り方)	○ SNSによる情報発信
○ 学校体育の充実(小学校体育専科の推進、指導者育成)	○ 地域とのさらなる連携

## 0 次期教育振興基本計画のコンセプト

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響とロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化（予測困難な時代）  
⇒ 浮き彫りになった課題と学校・教育の役割、学びの容容
- 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出すための教育の実現にむけた個別最適・協働的な学び、学習者主体、「自立」、「協働」、「創造」という基軸の発展的継承  
⇒ 共生社会の実現、多様な個人と地域や社会のウェルビーイングの実現
- グローバル化、少子化・人口減少の中で、持続可能な社会の発展を生み出す人材の育成  
⇒ 主体的な社会形成参画、生涯学び続ける学習者、課題の発見・解決のための学びをいつでも受けられる環境整備
- デジタルトランスフォーメーション（DX）を教育・学習全体の中に組み込む

これらを通じた  
Society  
5.0の実現

## I 我が国の教育をめぐる現状と課題

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

▶ 教育振興基本計画は、予測困難な時代における我が国の教育の方向性を示す羅針盤となるもの

## 第3期計画期間中の成果

- ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善と支援スタッフの充実 等
- ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、認証評価のための法改正、連携・統合のための体制整備 等
- ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や長寿命化、耐震化の実施 等

## 第3期計画期間中の課題

- ・コロナ禍でのグローバルな人的交流の減少や体験活動の停滞
- ・いじめの重大事態の発生件数や児童生徒の自殺者数の増加
- ・学校における長時間勤務や教師不足
- ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化
- ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷
- ・教育改革に対する大学間の取組差、博士課程進学率の低さ 等

## 社会の現状や変化への対応

- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・新型コロナウイルス感染症、学校の福祉的役割
- ・社会のDXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・国際情勢の不安定化
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・共生社会・社会的包摂
- ・18歳成年・こども基本法

等

## II 今後の教育政策に関する基本的な方針

## ① 日本型ウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す学びを日常の教育活動に取り入れることにより、一人一人のウェルビーイングを向上
- ・子供が抱える課題が多様化・複雑化する中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実やマイノリティの子供の強みに着目するエンパワメントの視点により、多様性、公平・公正、包摂性（DE&I）ある共生社会の実現に向けた教育を推進
- ・調和と協調ある日本型ウェルビーイングとして「主観的な幸福感」「開放的協調性と多様なつながり」「自己肯定感と自己実現」を重視
- ・教師のウェルビーイングの確保、社会教育を通じた地域コミュニティを基盤としたウェルビーイングの実現
- ・組織の境界を越えた学び合い、風通しの良い組織形成を重視し、同調圧力への偏りから脱却

## ② グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・気候変動などの地球環境問題や都市と地方の格差などの社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上に向けて、「人への投資」が必要
- ・グローバル化が進展する中で、持続可能な社会の創り手の育成に向けて、留学等の国際交流活動や大学等のグローバル化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・主体的社会参画意識の醸成や、デジタルやグリーン等の成長分野の人材育成に向けて、課題解決型学習やキャリア教育、探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・人生100年時代のマルチステージにおける、学校における学びの多様化やリカレント教育の推進

## ③ 地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けた教育の推進

- ・社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、高齢者を含むすべての人のウェルビーイングを向上。障害者の生涯学習機会の拡充に向けた取組推進

## ④ 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ・DXに至る3段階（電子化(Digitization)→最適化(Digitalization)→新たな価値(DX)）において、当面、第3段階を見据え、そのイメージを持ちながら、第1段階から第2段階への移行を着実に推進
- ・教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進
- ・各学校段階に応じ、情報活用能力の育成、校務DXを通じた教育データ利活用・働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、GIGAスクール構想、DX人材の育成等を更に推進
- ・デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

## ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

- ・経済的・地理的状況によらない学びの確保、指導体制・ICT環境等の整備、学校における働き方改革の更なる推進、NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保
- ・各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

III 今後の教育政策の遂行に当たって特に留意すべき事項、IV 今後5年間の教育政策の目標と基本施策（今後議論）